



薬局・薬剤師のためのニュースメディア

# HARMACY NEWSBREAK

## 【偽造薬問題】「業界でのリスクマネジメントできてない」 偽造品問題で薬経連・山村会長

ピックアップ 偽造薬問題 団体・学会 [ 2月20日 13:21 ]

中小薬局でつくる保険薬局経営者連合会の山村真一会長は19日、東京都内で開いたフォーラムで講演し、C型肝炎治療薬「ハーボニー」の偽造品問題について、問題発覚後、業界として改善に向けた動きが感じられなかったとし、「業界としてのリスクマネジメントができていない」と危機感をあらわにした。

【写真】講演する薬経連の山村会長



山村会長は、「医療用医薬品で偽造品が出回ったことはかつてなかったはず。薬局は最終ゲートキーパーの責任を担ってこそ国家資格者、保険薬局だったはずだが、最後のとりでの機能がなかった」と述べ、早急な対応策を講じる必要があると指摘。「どのように改善していくかという時に各薬局の自助努力に任せられた形になっていて、業界として、何か改善していこうという動きがなかった。業界としてのリスクマネジメントができていない」と問題提起した。

### ●薬局から患者へのトレーサビリティ不可欠

さらに、医薬品の流通についてトレーサビリティが求められていると指摘。「医薬品の製造元から薬局へのトレーサビリティは当然だが、それだけではなく、これからは薬局からどの患者にどの薬が渡ったかというトレーサビリティが求められる時代に突入している」と述べた。

山村会長はまた、今後の薬局業界の在り方についても言及。「ハーボニーの問題もそうだが、個店単独で頑張っても限界がある。ネットワークをつくっていかないと対応できない」と指摘した。

コンビニエンス業界では上位3社で9割、ドラッグストア業界では上位21社で8割のシェアを占めているのに対し、20店舗以上の薬局グループで30%のシェアにとどまっているなど集約化が進んでいないとし、「コンビニは上位3社が変われば、業界が変わる。（これに対して）薬局業界はガバナンスが効いていない」と述べ、薬局が社会インフラとして十分に機能するためにも連携が必要になるとの認識を示した。